

# Crenova マルチメーターを身体電圧計として使用する方法



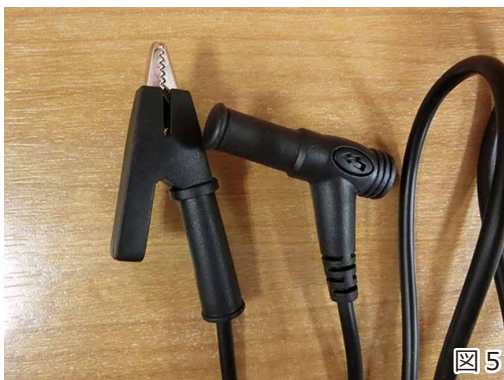
## 1 付属品を確認します

- ①本体
- ②テストリード
- ③ワニ口テストリード
- ④電池
- ⑤説明書



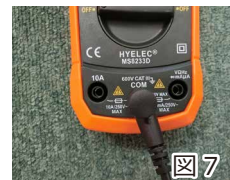
## 2 電池を入れます

小さめのプラスドライバーで裏面の電池カバーのネジを外し ( 図 2)、カバーを開けて電池をセットします。( 図 3)  
電池をセットしたら裏面カバーを元に戻します。( 図 4)



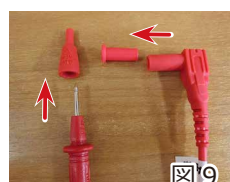
## 3 身体電圧計のアースをつける

ワニ口 ( ③ ) の、黒を使います。( 図 5)  
キャップを外し ( 図 6)、真ん中に差し込みます ( 図 7)



## 4 身体電圧測定に使う針を準備

テストリード ( ② ) の、赤を使います。( 図 8)  
各先端のキャップ(2つ)をひねりながらゆっくり外します。( 図 9)



テストリードの検査針側先端は尖っています。外す際にはくれぐれもケガをしないよう、ご注意ください。



## 5 赤のテストリードを接続して、測定準備完了



4 で準備した赤いテストリード(②)を本体下部右側の穴に差し込む。( 図 11) 身体電圧を計測する準備完了です。( 図 10)

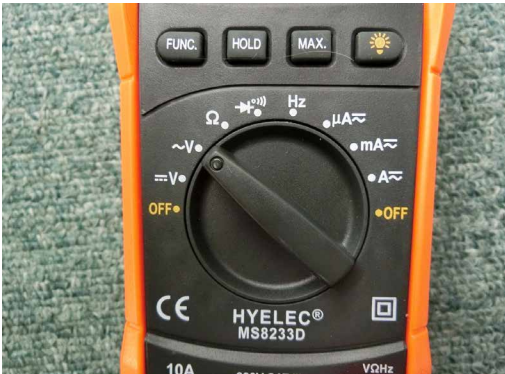


使用しないものは赤のワニ口、黒のテストリード ( 針)、キャップ 3 つです。( 図 12)



## 6 ワニ口 ( 黒 ) をアースにつなぐ

黒のワニ口を、プラグインアース ( 黒 ) またはアースコンセント ( 緑 ) につなぎます。



## 7 ダイヤルを交流電流 ( ~ V ) に合わせます

ダイヤルを左から 2 つ目の「~ V ●」に合わせます。



## 8 赤い針の先端をつまみ、計測します

赤いテストリードの先端 ( 針の部分 ) をつまんで、身体電圧を測定します。「268」と表示されているのは身体電圧「0.268V (= 268mV)」です。測定値の詳しい数値にこだわらず、値が大きい小さいかだけを確認してください。

身体電圧の目安		
○	問題なし	0.01V 以下
△	やや問題あり	0.011 ~ 0.999V
×	問題あり ( 要対策 )	1.0V 以上

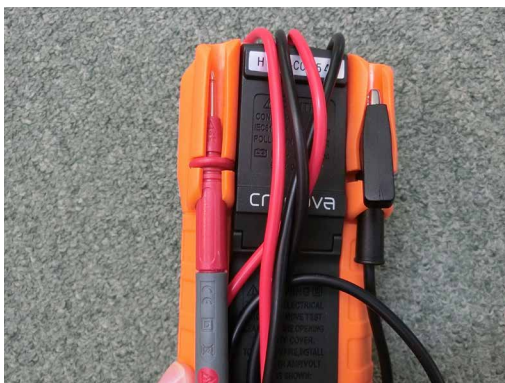


## 9 アースがとれている場所での確認

アースにつないだアースコットンの上での数値が下がるか確認します。ここでも数値にこだわらず、アースなしの数値より下がるかを見てください。

自分が使う放電用アイテム ( アースインナーユニット・アースコットン・アースマットなど ) をプラグインアース ( 黒 ) / アースコンセント ( 緑 ) につなぎます。

放電していない時と、放電している時の身体電圧を比べ、低下していることを確認します。



## テストリードのしまい方

特に針状の赤い線は危険ですので、左図のように本体の裏側の溝に合わせてはめ込みます。

ここでは、放電していない時の 0.268V (= 268mV) から、放電によって 0.001V (1mV) まで低下しています。よって、放電は確実にされているということになります。